

		竹富町立船浮小学校	教科	生活・理科
			関連教科	
対象学年 (人数)		2年 (1人) 6年 (1人)	時間数	7時間
テーマ		旧網取集落の散策とオカヤドカリの生態について学ぼう		
内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・船浮集落と関わりの深い「旧網取集落」を散策し、当時の人々の生活の様子を知る。 ・オカヤドカリの生態を学び、人々の生活との関わりを探る。 		
	進め方	旧網取集落の下見⇒講師との調整⇒事前学習⇒旧網取集落の散策とオカヤドカリの生態学習⇒事後学習		
	日時	平成31年4月26日 (金)		
	場所	網取 (旧網取集落)		
	行程	船浮港出発 8:00⇒船浮湾探検 8:20～10:30⇒ 網取到着 10:30⇒網取集落跡の散策・オカヤドカリの生態学習 10:45～13:45⇒網取出発 14:00⇒船浮港到着 14:30		
	準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドマイク ・オカヤドカリ (生体) ・水槽 ・カメラ ・ライフジャケット 		
	外部連携	<ul style="list-style-type: none"> ・講師 (東海大学職員) ・傭船 (船浮海運) 		
活動の成果		<ul style="list-style-type: none"> ・講師と旧網取集落を散策することで、人々の生活の様子を子ども達が色々な場所でみつけることができた。また、当時の小学校跡を見たり、集落の住民が多く住んでいた頃の様子や住民が減少した経緯等の歴史的背景を知ることができた。 ・散策の中で、植物やオカヤドカリの生態を実物を見て学ぶことができた。 		

竹富町海洋教育実践記録シート

学校名		竹富町立船浮小学校	教科	生活・理科
			関連教科	
対象学年（人数）		2年（1人）	時間数	7時間
		6年（1人）		
テーマ		近海の海洋生物に触れよう（刺し網漁体験）		
内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・講師（地元の漁師）の方から、魚の生態や特徴、さばき方や調理方法、海の危険生物について教えてもらう。 ・刺し網漁体験をとおして、伝統漁法などについて学ぶ。 		
	進め方	講師と打ち合わせ⇒事前学習⇒体験学習（魚の生態・さばき方や調理法・刺し網漁体験⇒事後学習		
	日時	令和元年5月19日（日）		
	場所	くまだらの浜（船浮）		
	行程	船浮港出発 9:15⇒くまだらの浜到着 9:30⇒体験学習（魚の生態・さばき方や調理法・刺し網漁体験 9:40～14:30⇒くまだらの浜出発 15:00⇒船浮港到着 15:15		
	準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドマイク ・カメラ ・網 ・マリンシューズ ・調理器具 ・ライフジャケット 		
	外部連携	<ul style="list-style-type: none"> ・講師（地元の漁師） ・備船（船浮海運） 		
活動の成果		<p>・児童の中には、普段から魚釣りや魚をさばくことを経験している子と、全く魚にふれたりさばいた経験のない子とがいた。体験の中で、講師から魚の生態やさばき方、調理法を教えていただいたが、できない所や分からないことは、子ども達同士で考えを出し合ったり、教え合ったりする場面が見られた。体験を通して、知識はもちろん、協力することの大切さも学ぶことができた。</p> <p>・刺し網漁体験を通して、魚を捕ることがどれだけ大変な作業であるか、それを受け継ぐ姿を目の当たりにして、漁師という仕事がどのようなものであるかにふれ、キャリア教育へも繋がった。</p>		

竹富町海洋教育実践記録シート

学校名		竹富町立船浮小学校	教科	理科
			関連教科	・総合的な学習の時間
対象学年 (人数)		6年 (1人)	時間数	5時間
テーマ		船浮近海のサンゴの産卵を観察しよう		
内容	目的	・船浮近海に生息するサンゴの産卵の様子を観察し、サンゴの生態について学ぶ。		
	進め方	講師と打ち合わせ⇒事前学習⇒サンゴの産卵観察⇒事後学習		
	日時	令和元年6月19日(水)		
	場所	外離島		
	行程	船浮港出発 17:10⇒白浜港到着 17:20⇒講師紹介・準備・白浜港出発 17:50⇒外離島到着 18:00⇒ダイビングの器材講習・準備・サンゴの産卵観察 18:00～19:30⇒外離島出発 19:40⇒白浜港到着 19:50⇒お礼・片付け 20:00⇒白浜港出発 20:10⇒船浮港到着 20:20		
	準備物	・ダイビング器材一式 ・カメラ ・ライフジャケット		
	外部連携	・講師 (地元ダイビング業者)		
活動の成果		・事前学習でサンゴの種類やサンゴの産卵を調べて体験に臨んだ。体験に参加した児童は、普段から潜ったり魚を捕ることが大好きで、海への興味関心が人一倍高いので、講師の方がサンゴの産卵について説明すると、自ら質問する等、意欲的であった。海の中へサンゴの産卵の観察に行ったが、時間の関係で大量の産卵の様子をみることは残念ながらできなかったが、自然の神秘的な現象に感動していた。事後学習の感想の中にも「海の環境を守っていききたい」と、前向きな感想を書いていた。		

竹富町海洋教育実践記録シート

学校名		竹富町立船浮小学校	教科	生活・理科
			関連教科	社会 総合的な学習の時間
対象学年 (人数)		2年 (1人) 6年 (1人)	時間数	4時間
テーマ		船浮湾から空を眺めて見よう		
内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・洋上から夜空を観察し、星座や惑星の名前や位置、星にまつわる民話を学ぶ。 ・航海機器が発達していなかった時代に星座が利用され、海と星座との関係を知る。 		
	進め方	下見・講師との調整⇒船浮湾から星座観察⇒事後学習		
	日時	令和元年7月22日(金)		
	場所	船浮湾		
	行程	船浮港出発 19:15⇒船浮湾到着 19:20⇒星座観察(洋上のイカダの上で講師から星座や惑星の説明・星座にまつわる民話を聞く) 19:30～20:30⇒船浮湾出発 20:30⇒船浮港到着 20:40 ⇒船浮港で天体望遠鏡で星座観察 20:40～20:55⇒ お礼・記念写真撮影・解散 21:00		
	準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ ・ライフジャケット ・懐中電灯 ・虫除け ・天体望遠鏡 		
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> ・講師 ・備船(ふね家) 			
活動の成果		<p>・地域の協力も得て、船浮湾にイカダを浮かべて洋上から星座の観察をすることができた。今回、昔の航海機器が発達していなかった頃に星座を目印として航海してきたことなど、海と星座の関係を知ることができた。また、集落から離れて明かりがないと、星空がはっきり空一面に広がり、その迫力に子ども達は感動していた。講師から星座や惑星、星座にまつわる民話を聞くと「あの星はなんですか?」と様々な質問が出たり、講師が説明した星座を見つけて喜んでた。事後学習でも、子ども達からは星座の名前や民話がたくさん出てきて、学習したことがしっかりと身についていた。</p>		

竹富町海洋教育実践記録シート

学校名		竹富町立船浮小学校	教科	生活・理科
			関連教科	
対象学年 (人数)		2年 (1人)	時間数	4時間
		6年 (1人)		
テーマ		仲良川中流に生息する干潟の生き物の観察とシャコ捕り体験		
内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・仲良川中流に生息する干潟の生き物の観察し、その生態について学ぶ。 ・シャコ捕り体験をする。 		
	進め方	講師と調整⇒事前学習⇒生き物の観察⇒事後学習		
	日時	令和2年2月26日 (金)		
	場所	仲良川		
	行程	船浮港出発 13:30 ⇒船から仲良川中流の植物や野鳥など観察しながら干潟へ 13:30～14:00 ⇒干潟から生き物観察 (干潟の生き物探し・植物の観察・シャコ捕り・釣り体験) 14:00～15:15 ⇒仲良川干潟出発 15:15 ⇒船浮港到着 15:30		
	準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ ・ライフジャケット ・双眼望遠鏡 ・クワ ・釣り竿 		
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> ・講師 (池田米蔵さん) ・備船 (船浮海運) 			
活動の成果		<p>・仲良川へ向かう途中、講師が船からマングローブに生息している生き物や植物、野鳥などを観察することができた。また、昔は奥の山から歩いて大原まで道がつながっていること、仲良川中流近くで米を作っている方がいることなど、様々な視点で仲良川を観察することができた。</p> <p>・干潟の生き物観察では、ミナミコメツキガニがたくさん生息しており、児童はその動きを追って観察をしていた。また、事前学習でシャコを図鑑で調べており、干潟でクワで穴を掘って探したが、なかなか見つからなかった。その原因として、船の油が流れ出てしまい、シャコが減っている現状をしることができた。捕れたシャコを餌に、魚を釣り、高学年の児童が低学年の児童に釣り針に餌をつけてあげたり、釣りの仕方を教えてあげたり、協力して魚を釣ることができた</p>		